

専任教員の教育・研究業績

所属 体育学部	職名 教授	氏名 曾根純也	大学院における研究 指導担当資格の有無	有		
I 教育活動						
教育実践上の主な業績		年月日(期間)	概 要			
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)						
運動学概論		2009年から現在	講義形式で実施。大学内の「授業アンケート」を毎回実施			
サッカー実技		2007年から現在	大学内における「授業に関するアンケート」で高評価			
2 作成した教科書、教材、参考書						
スポーツ運動学 講義テキスト(改訂判を含めて)		2009~2011, 2012~2016, 2017~ 現在	2016年度版までは分担執筆。2017年度以降は単独により執筆。			
教員免許状更新講習		2011~2013	球技(ゴール型)におけるサッカー競技を分担執筆			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等						
大阪府公認リーダー講習会		2017-現在	「指導者の役割」「倫理」など講義			
大阪市鶴見区青少年育成育成大会		2016	未来を考える-子供の頃からのスポーツ週間-			
平成27年度茨木市体力向上公開授業研究会		2015	(沢池小学校)子ども体力向上プロジェクト:「良い体育授業」とは何か			
4 その他教育活動上特記すべき事項						
大阪市スポーツ大学(OSPA)		2011年-2015年	オムニバス形式で主に、運動観察論、学習位相論などの講義			
関西SGIドイツ語通訳		2012年-2020年				
II 研究活動						
著書(共著・分担執筆)						
題目/書名	著者/編者	初(始)頁~終頁	発行所	発行地	発行年月	
コトとカンの運動学	渡邊伸, 佐野淳, 金子一秀, 曾根純也ほか,	p92-97, p134-136	日本スポーツ運動学会	大修館書店	2020年4月	
原著論文(審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。)						
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁~終頁	発行年月	
サッカーにおけるパス受け手の身体知 促発指導に関する発生運動学的考察	曾根純也	日本スポーツ運動学会	第30号	p33-48	2018年3月	
Axiologische Betrachtung von Kampfsporttraining	Junya SONE	Journal of Martial Arts Research	vol 1 No2	P1-7	2018年7月	
球技における戦術研究の今日的課題	曾根純也	日本スポーツ運動学会	第23号	p53-58	2010年	
総説						
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁~終頁	発行年月	
スポーツ指導における価値論的考察	曾根純也	大阪体育大学紀要	第47巻	p1~17	2016年3月	
Eine Phänomenologische Untersuchung zur Betrachtungsfähigkeit der Sportlehrer	Junya SONE	大阪体育大学紀要	第42巻		2011年3月	
その他(「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入)						
区分	題名	著者	誌名	巻	初(始)頁~終頁	発行年月
実践報告	2016年度大阪体育大学スポーツ 科学センター活動報告書	共 曾根純也	大阪体育大学紀要	第48巻	p125~136	2017年3月
研究ノート	Juristische Aspekte koerperlicher Zichtigung	単 曾根純也	大阪体育大学紀要	第45巻	p65~76	2015年3月
学会発表(「国際学会」、「国内学会(一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等)」、「研究会」等区分を記入)						
区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名	
国内(一般演題)	2017年9月	6. Internationales Symposium „ Kampfkunst und Kampfsport in Forschung und Lehre 2017	BETRACHTUNG VON KAMPFSPORT-TRAINING	Lueneburg University	Junya SONE	
国内(講演)	2016年3月	第29回日本スポーツ運動学会	サッカー指導における運動学的視座の 重要性	東京女子体育大学	曾根純也	
国際	2014年9月	9th German - Japanese Symposium of Sport Science	Perspektive der Körperlichen Zu- chtigung-Vergleich von Japan und Deutschland	慶應大学	Junya SONE	
国際	2012年5月	3 rd World Conference on Science and Soccer 2012	Dispatch of Japanese Soccer Coaches to Asia: Their Activities in Syria	Ghent University	Junya SONE	

科学研究費等の取得状況						
科学研究費/その他の助成金/外部資金						
区分	種類	題目	代表・力役の別	期間	助成額 (期間内の総額)	
特許						
特許名称	発明者/出願人	出願日/出願番号	公開番号	取得した場合 ⇒	公告・特許番号	国
Ⅲ 加入学会および社会における活動						
期 間		内 容				
加入学会						
2018年3月～現在		日本スポーツ運動学会理事				
2017年4月～2019年3月		日本コーチング学会理事				
社会的活動						
2014年3月～2015年3月		日本コーチング学会第26回・日本体育学会体育方法専門領域研究会第8回 事務局長				
Ⅳ 管理活動						
期 間		内 容				
委員会活動						
2007年4月～		国際交流委員会 2009, 2012, 2018 (西安体育学院)				
特別プロジェクト活動						
2013年4月～2014年3月		特色あるプロジェクト「競技力向上を目指したスポーツ実践とスポーツ医・科学の融合」				
Ⅴ クラブ活動の指導業績						
1. 指導クラブ名		部	2. 役職		3. 部員数	人
4. 現場指導の頻度	⑤ ① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない					
5. 合宿指導	年間合宿回数:	回	延べ日数:	日		
6. クラブの競技力向上への取り組み	選択	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	選択	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
8. 部員の就職指導への取り組み	選択	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
9. 年間の引率公式大会名	大会名		期 間		場 所	
10. クラブ戦績 (全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。)						
開催期間	大会名		成 績		場 所	
Ⅵ 賞罰 (職務に関する賞罰)						
年 月	受賞等機関名	内 容			備 考	